

Q25. PCSA-300P-X2S は静かなのか？

A25. PCSA-300P-X2S の静音性について各方面よりお問い合わせ、ご指摘を頂いております。

PCSA-300P-X2S の騒音測定結果を以下に示します。

表 6.9 PCSA-300P-X2S の騒音測定結果

PCSA-300P-X2S 騒音測定結果		
測定条件	その他条件	測定値
【測定条件1】 PCSA-300P-X2SP (電源単体で測定)  暗騒音: 30dB A特性, slow	最低回転時	31dB
	最高回転時	41dB
【測定条件2】 PCSA-300P-X2SP (電源をPCに組み込み、マザーボード、HDD、FDD、CD-ROM等を接続)  暗騒音: 30dB A特性, slow  負荷約 60W で 1 時間動作後の数値	電源のみ	35dB
	電源+CPU FAN	37dB
	電源+HDD	35dB
	電源+HDD アクセス時	45dB
	電源+CPU FAN+HDD アクセス時	47dB
上記騒音レベル測定値で、特に暗騒音と測定値の差がないものについては補正が必要。本表示は補正無しの値である。		

実測値を見ていただくと最低回転時 31dB、最高回転時 41dB となっており、最大時には気になる程度の騒音と思われます。

弊社電源は電源内部温度を元に FAN 回転数を可変する温度が変速 FAN を採用しております。したがって、冷却の必要がある場合は冷却のために電源 FAN 速度を上げます。このため、負荷条件の厳しい用途 (たとえば周辺機器が多く接続されている場合、デュアル CPU システム、クロックアップなど) では回転数が上がり気味になります。この場合、PC 全体の冷却を考慮いただき、PC 全体として温度が低下すると電源自体の FAN 速度も下がり、結果的に騒音が低下する傾向となります。

また、極めて静かな環境では、PC 停止時の 5V スタンバイだけを出力している状態の時にチョークの振動音が聞こえる可能性があります。これは、周囲の騒音レベルとの相対的な問題となります。このような場合は、PC 停止時は 5V スタンバイを切る操作(電源本体のスイッチを OFF)していただくことにより無音になります。